

静岡市清水区感染症発生動向

2014年 3週

集計期間 1/13-19

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-	
RS感染症		1				1								2	
咽頭結膜熱							1		1					2	
溶連菌感染症				1	18	14	2		4	1		1		9	
感染性胃腸炎	2	11	19	8			13	10	12	9	8	24		148	
水痘				1			1			1	1			4	
手足口病															
伝染性紅斑															
突発性発疹															
百日咳															
ヘルパンギーナ															
流行性耳下腺炎															
麻疹															
風疹															
マイコプラズマ															
髄膜炎															
MCLS															
小児科Flu		2	4	4	6	8	5	7	9	6	4	23	2	80	
小児科定点総数 245 増減 13 前週比 105.6% 定点当たり 40.8 病院:開業医 3:242 増減 -1:+14															
内科Flu													2	5	7
インフルエンザ総数 87 増減 49 前週比 228.9% 定点当たり 9.7 小児科:内科 80:7 増減 +51:-2															

総数245、前週の105.6%と、僅かに増加です。

首位は、感染性胃腸炎、前週比86%、定点当たり24.6と減少です。

2位は、インフルエンザ、前週比275%、定点当たり1.3と予定通り倍増です。

3位は、溶連菌感染症、前週比300%、定点当たり1.5と増加です。

以下は、インフルエンザに抑圧されて、全て、定点当たり1未満で少数です。

長かった、RSウイルス感染症の流行も、今週は2で、そろそろ終息です。

インフルエンザ、倍増で、9定点中、8定点から報告です。

小児科定点では、A型56名、B型3名、型報告無21名で、A型が95%、

内科定点では、A型6名、B型1名で、A型が85%でした。

例年は、行動範囲が広い中学生から流行し、下へ広がるのですが、

今年は、年齢の小さな子が目立ち、大人も少数です。

どうも、型変異が小さく、既往のある方は、罹患しにくいようです。

今年は、小さな流行で終わるのかもしれませんが。